



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月24日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7477 URL http://www.muraki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 文男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典 TEL 042-357-5610  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,387	△1.6	42	39.5	71	6.8	43	19.6
25年3月期第2四半期	4,459	△0.8	30	△38.8	67	△5.3	36	△28.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 41百万円 (32.0%) 25年3月期第2四半期 31百万円 (△33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.93	—
25年3月期第2四半期	2.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,035	2,286	56.7	155.58
25年3月期	4,250	2,259	53.2	153.73

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,286百万円 25年3月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
26年3月期	—	1.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,289	4.3	90	71.8	140	34.1	100	53.4	6.80

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	14,700,000株	25年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	924株	25年3月期	924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	14,699,076株	25年3月期2Q	14,699,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
5. その他 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による緊急経済対策関連に伴う公共投資の増加や、円安の追い風を受けた企業の業績回復に、株価回復を背景にした消費者マインドの改善効果が現れ景況感に明るい兆しが見られる一方、所得環境の改善の遅れに加え、海外経済の下振れや円安からくる原材料価格やエネルギーコストの高騰が進みプラスマイナスの両面が並存する経済環境となりました。そのような折、先般発表された2020年の東京五輪開催は社会インフラの整備を初めとした経済波及効果により景気と消費にプラスに作用するものと期待されております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますサービスステーション（略称：SS）業界においては、第1四半期での遅れが第2四半期連結累計期間にも影響しました。当社が主力商品に掲げる基本4品目（ワイパーブレード・オイルエレメント・バッテリー・洗車機洗剤）の売上が多少減少いたしました。その主要因は、SSでのガソリン価格の高騰によるユーザーの買い控え現象と来店頻度の減少が販売機会に影響したことにあります。

一方で後発事業であるものの部品事業はおかげさまで順調に推移し、前年を上回る実績をあげることができました。更にこの基盤の事業を確固たるものにすべく部品事業の包括的供給をめざし純正外車パーツに本格参入を始めます。増え続ける外車比率に対し、SSで敬遠されがちであった外車パーツに照準をあてることでSSに新たなサービスを提供するとともに、全国の外車オーナーがSSを通じて迅速・安全・確実な部品供給を受けうるという全く新たなシステムが完成します。「東京から全国へ」をキーワードに世界の40銘柄以上の純正外車パーツの供給が可能となります。この新境地は地道に推し進めてきた業務提携先部品販売会社との強力なタイアップから生まれたもので、従来の国産パーツとの相乗効果も期待できるものであります。

これに加え下期対策としてのハイスペックオイルエレメント、ハイブリッド車専用バッテリー、更には車検特化モデル店から得られたノウハウを反映させた車検告知アイテムのセット販売等、SSにとっては新たなカテゴリーとなる部品の提供により、売上高の構築を図ってまいります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 4,387百万円（前年同期比 1.6%減）となりました。

収益面におきましては、売上総利益は 1,189百万円。人件費及びその他の経費等の更なる削減により営業利益は 42百万円（前年同期比 39.5%増）、経常利益 71百万円（前年同期比 6.8%増）、法人税等 28百万円を計上し、当四半期純利益は 43百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業につきましては、上記要因から売上高は 4,304百万円（前年同期比 1.1%減）セグメント利益は 40百万円（前年同期比 17.7%増）となりました。「その他」につきましては、売上高は 132百万円（前年同期比 19.6%減）セグメント損失は 4百万円（前年同期のセグメント損失 7百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は 2,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ 270百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 160百万円、受取手形及び売掛金が 50百万円減少したことによるものであります。固定資産は 1,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ 54百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が 64百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は 4,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ 215百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は 1,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ 185百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 37百万円、1年内返済予定の長期借入金が 107百万円減少したことによるものであります。固定負債は 608百万円となり、前連結会計年度末に比べ 56百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 23百万円減少したことと、社債が 42百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は 1,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ 242百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ 27百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益 43百万円及び剰余金の配当 14百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は 56.7%（前連結会計年度末は 53.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計期間年度末に比べ、460百万円減少し、907百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は101百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純利益71百万円、売上債権の減少額42百万円、仕入債務の増加額36百万円、その他流動資産の増加額33百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は374百万円です。これは主要因として定期預金の預入による支出350百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は187百万円です。これは主要因として長期借入金の返済による支出130百万円、社債償還による支出41百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、第2四半期連結累計期間の業績予想との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、「平成25年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたならば、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(減価償却費)

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,560	1,229,912
受取手形及び売掛金	1,016,649	966,599
商品及び製品	593,815	577,452
繰延税金資産	20,744	9,050
その他	79,693	49,393
貸倒引当金	△937	△1,952
流動資産合計	3,100,526	2,830,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	771,103	771,103
減価償却累計額	△672,501	△677,100
建物及び構築物(純額)	98,602	94,002
機械装置及び運搬具	30,298	30,298
減価償却累計額	△26,325	△26,994
機械装置及び運搬具(純額)	3,973	3,304
土地	438,325	438,325
リース資産	2,875	6,201
減価償却累計額	△2,156	△2,499
リース資産(純額)	718	3,702
その他	170,496	170,604
減価償却累計額	△152,027	△155,669
その他(純額)	18,469	14,935
有形固定資産合計	560,088	554,270
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	47,389	46,142
差入保証金	382,346	374,338
繰延税金資産	1,391	2,340
その他	99,955	172,391
貸倒引当金	△17,309	△16,534
投資その他の資産合計	513,773	578,678
固定資産合計	1,149,873	1,204,810
資産合計	4,250,400	4,035,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852,309	814,982
1年内償還予定の社債	82,500	83,500
1年内返済予定の長期借入金	225,860	118,860
リース債務	636	1,176
未払法人税等	58,441	23,631
賞与引当金	18,006	17,815
その他	87,088	79,571
流動負債合計	1,324,842	1,139,537
固定負債		
社債	118,000	75,750
長期借入金	215,585	191,755
リース債務	142	2,796
退職給付引当金	295,104	297,755
役員退職慰労引当金	21,035	26,432
その他	16,019	14,409
固定負債合計	665,886	608,899
負債合計	1,990,729	1,748,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	265,641	294,046
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,264,737	2,293,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,066	△6,313
その他の包括利益累計額合計	△5,066	△6,313
純資産合計	2,259,670	2,286,830
負債純資産合計	4,250,400	4,035,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,459,736	4,387,578
売上原価	3,235,745	3,198,218
売上総利益	1,223,991	1,189,360
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	552,880	523,359
賞与引当金繰入額	18,279	17,815
役員退職慰労引当金繰入額	5,397	5,397
その他	616,970	600,286
販売費及び一般管理費合計	1,193,527	1,146,858
営業利益	30,463	42,501
営業外収益		
受取利息	1,185	1,454
仕入割引	32,666	27,327
その他	9,681	6,446
営業外収益合計	43,534	35,228
営業外費用		
支払利息	4,735	3,527
手形売却損	1,625	1,040
その他	419	1,341
営業外費用合計	6,780	5,909
経常利益	67,216	71,819
特別損失		
固定資産除却損	4,460	—
投資有価証券評価損	925	—
その他	452	—
特別損失合計	5,838	—
税金等調整前四半期純利益	61,377	71,819
法人税、住民税及び事業税	25,332	17,970
法人税等調整額	—	10,745
法人税等合計	25,332	28,715
少数株主損益調整前四半期純利益	36,045	43,104
四半期純利益	36,045	43,104



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,045	43,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,323	△1,246
その他の包括利益合計	△4,323	△1,246
四半期包括利益	31,722	41,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,722	41,858
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	61,377	71,819
減価償却費	22,852	18,496
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,712	239
賞与引当金の増減額(△は減少)	279	△191
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,799	2,650
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,397	5,397
受取利息及び受取配当金	△1,278	△1,552
支払利息	4,735	3,527
投資有価証券評価損益(△は益)	925	—
固定資産除却損	4,460	—
売上債権の増減額(△は増加)	81,502	42,135
たな卸資産の増減額(△は増加)	88,145	15,562
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,975	33,660
差入保証金の増減額(△は増加)	11,720	1,738
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,583	△36,480
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,372	△2,383
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,829	1,953
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	700	△1,100
その他	3,049	189
<b>小計</b>	<b>243,339</b>	<b>155,663</b>
利息及び配当金の受取額	582	573
利息の支払額	△4,677	△3,408
法人税等の支払額	△40,635	△51,679
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>198,609</b>	<b>101,148</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△350,000
有形固定資産の取得による支出	△815	△665
無形固定資産の取得による支出	—	△3,875
貸付けによる支出	—	△15,700
貸付金の回収による収入	246	1,054
差入保証金の差入による支出	△7,763	△1,111
差入保証金の回収による収入	13,920	7,116
長期前払費用の取得による支出	△2,352	△233
保険積立金の積立による支出	△12,778	△12,118
その他	1,146	805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,395</b>	<b>△374,726</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25,200	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△87,500	△130,830
社債の償還による支出	△16,500	△41,250
配当金の支払額	△27,032	△14,677
その他の支出	△297	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,530	△187,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133,684	△460,648
現金及び現金同等物の期首残高	1,004,654	1,368,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,138,338	907,912

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カーケア関連商品販売を主たる事業としており、「自動車補修部品」「自動車ケミカル」「サービスステーション備品」等の「カーケア関連商品販売」と「自動車販売及び整備」「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等の「その他」を報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度のセグメント区分から変更はありません。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,351,811	107,925	4,459,736	-	4,459,736
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	57,168	57,182	(57,182)	-
計	4,351,825	165,093	4,516,919	(57,182)	4,459,736
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	34,593	△7,631	26,961	3,501	30,463

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,304,702	82,875	4,387,578	-	4,387,578
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	258	49,783	50,041	(50,041)	-
計	4,304,961	132,659	4,437,620	(50,041)	4,387,578
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	40,732	△4,198	36,533	5,968	42,501

## 5. その他

平成23年3月24日開示の「子会社の解散および清算に関するお知らせ」のとおり、当社連結子会社である山梨ムラキ自動車株式会社が、平成25年6月27日開催の株主総会において清算終了を決議しております。

当該子会社の異動に伴う当社連結業績に与える影響は軽微であります。